

令和6年7月

各 位

一般社団法人 農業開発研修センター
会 長 理 事 増 田 佳 昭
[公 印 省 略]

令和6年度（通算第55回）農産物流通研究会の開催について

拝 啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、標記の研究会を別紙要領のとおり、開催します。当センターでは、地域農業の振興・活性化とJAの改革に貢献することを目的として、各種の研究会（研修会）を毎年開催しており、全国各地から多数の方々にご参集いただいております。

今年度の標記研究会は、産地や卸売市場等農産物流通環境の変化を踏まえて、今後のJAや卸売会社等流通各段階の連携のあり方を見据えて、今後の産地の生産振興・販売強化のあり方について徹底討論することをねらいに企画・開催します。

本研究会では、参加者間の交流を深めるために、今年度から対面方式による開催とし、併せて、参加者相互や講師との交流の場である懇談会も開催を予定しています。

つきましては、貴団体・機関の関係者のご参加におきまして、格別のご配慮を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。特にJAにおける営農企画担当役職員の方々や市場における産地担当の皆様のご積極的なご参加をお待ちしております。

なお、ご希望があれば本要領とは別にメールでもご案内いたしますので、申し添えます。

敬 具

追記 今年度から当センターが開催します年7回の研究会についての「年間予約コース」を設定いたしました。詳細は案内パンフレットをご覧ください、お申し込みを是非ともご検討ください。

令和6年度（通算第55回）

農産物流通研究会開催要領

主催：一般社団法人農業開発研修センター

《趣 旨》

わが国農業は、高齢化・担い手不足等に加え、農産物価格の低迷や資材価格の高騰など、産地における厳しい情勢が続いています。JAは、今秋開催予定の第30回JA全国大会（組織協議案）で今後の「食料・農業戦略」を掲げ、食料安全保障への貢献に向けた地域農業の実践と農業所得の増大、国産農畜産物の安定供給を柱とした対応方向を示すこととしています。

一方、卸売市場を取り巻く環境は、卸売市場法改正と規制改革が進められる中で、少子・高齢化が進む消費者構造と食料消費の多様化に加えて、産地の多様な販売チャンネル構築の動きや物流問題の顕在化など、大きく変化しています。

そこで本研究会では、上記の情勢や小売業界等の動向を踏まえて、今後のJAや卸売会社等流通各段階の連携を見据えて、今後の産地の生産振興・販売強化のあり方について徹底討論することをねらいに開催します。

期 間：令和6年9月12日(木)～13日(金)

会 場：京都JAビル 201・202会議室（アクセス参照）

対 象：①JA、全農都府県本部・本所、都道府県農協中央会・連合会、その他全国連の営農企画担当役職員
②卸売市場業界関係者（卸売業者等）
③その他、農産物流通関係機関・関係団体の役職員

定 員：60名程度

昼 食：

13日(金)に弁当（1,188円（税込））を準備します。ご希望の方は、参加申込書からお申し込みください。

参加費：（税込・一人当たり）

会 員 <>内は、2名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	40,700円<36,300円>
非 会 員 <>内は、2名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	51,700円<46,200円>
会友（個人会員）に新規加入の場合 （令和6・7年度の会友会費10,000円を含む）	45,700円

注1：会員は、会員所属者および令和5年度以前からの会友（個人会員）の金額です。

注2：令和5年度以前からの会友（個人会員）の部分受講は、別途割引があります。

※年間予約コースについては別紙をご参照ください。詳しくはメールまたは電話でお問い合わせください。

懇談会：

参加者と講師の交流の場とした懇談会を予定しています。ご希望を申込書へご記入ください。

＜開催予定日時＞

と き：9月12日(木) 17:30～(90分程度)

懇談会費：6,500円(消費税込)

申込方法：

①5ページの参加申込書をファックスで送信してください。

②受付完了通知をメールで送信しますので、参加費(昼食代・懇談会費)を送金してください。
なお、振込手数料はご負担ください。

＜振込先＞

京都府信用農業協同組合連合会(京都信連)

本店 当座 口座番号：6373291

京都銀行 京都駅前支店 普通 口座番号：3164073

口座名義：一般社団法人農業開発研修センター
シヤ) ノウギョウカイハツケンシユウセンター

申込締切日：9月5日(木)17:00

当開催要領は、ホームページ(<https://agridtc.or.jp/nittei.html>)に掲載しています。

キャンセルポリシー：

お申し込み後のキャンセルはキャンセル料が発生しますのでご注意ください。

・9月5日(木) 17:00まで……10,000円

・9月5日(木) 17:00以降……全額

問い合わせ(申し込み)先：

一般社団法人農業開発研修センター 研究会受付係

〒601-8585 京都市南区東九条西山王町1(京都JAビル)

TEL：075-748-0703

FAX：075-748-0855

E-mail：seminar@agridtc.or.jp

URL：https://agridtc.or.jp

アクセス：JR京都駅(八条口)より徒歩5分



(QRコードもご参照ください)



日 程

《第1日目》 9月12日(木)

13:30～13:40 開会あいさつ 一般社団法人農業開発研修センター 会長理事 増田 佳昭

13:40～13:50 オリエンテーション 摂南大学農学部客員教授・神戸大学名誉教授 小野 雅之 氏

13:50～15:10 報告Ⅰ 農産物流通システムの構造変化と産地・流通業界の課題

(うち質疑応答約10分)

摂南大学農学部客員教授・神戸大学名誉教授 小野 雅之 氏

- 専門は食料・農業市場論。『農政の展開と食料・農業市場』(筑波書房)、『農産物・食品の市場と流通』(筑波書房)など著書多数
- わが国農産物流通の基調変化ー特徴と動向ー
- 卸売市場法改正後に卸売市場業界はどのように変わったのか
- 農産物・食料の市場と流通をめぐる主要課題は何か

15:10～15:30 休 憩

15:30～16:40 報告Ⅱ わが社の事業戦略と産地・卸売業界に期待したいこと

(うち質疑応答約10分)

株式会社イズミ 上席執行役員

SM本部 本部長 兼 グループSM販売部 部長

河崎 智広 氏

- 1961年設立(本社:広島市)。資本金196億円。従業員数2,852名(単体、正社員)、店舗数105店舗(単体)。中国・四国・九州エリアを中心に事業を展開。
- 「地域」、「お客さま」、「テナント」、「社員」がつながりながら、支え合いながら、「その地域に今までなかったものを、その地域でNo.1の商品」を提供
- 地域・自治体等関係団体との密接な連携によるわが社の事業展開
- わが社が産地・卸売業界に期待したいことは何か

17:30～19:00 懇談会

《第2日目》 9月13日(金)

シンポジウム「産地の生産拡大と販売強化にどう取り組むか

ー今後の卸売会社等流通各段階の連携のあり方を見据えてー

9:30～ 9:50 座長解題

福井県立大学 経済学部

教授 堀田

学 氏

<座長解題>

- シンポジウムで議論したい論点と参加者に期待したいこと
- 販売先の確保・提案による生産意欲の向上を図る取り組み
- 2つの実践報告の関連と意味

9:50～10:50 実践報告① わがJAにおける販売力強化の取り組み

－生産振興から販路開拓を踏まえた産地振興の実践－

静岡県 とびあ浜松農業協同組合 営農販売部 営農販売課
課長 山下智子氏

- 平成7年に誕生した2市を管内とするJA。 組合員総数78,883名（うち、正組合員20,229名）貯金1兆2,626億円、貸出金2,199億円、長期共済保有高3兆3,043億円、販売品取扱高233億円、購買品供給高73億円（令和5年度実績）
- 加工業務用キャベツ等の全量買取をはじめとするJA独自の「買取」・「直販」システムの開発・運用による生産量の確保
- 営業提案活動を担う「特販事業」を本店営農販売課にて行うとともに、東京に職員を駐在させることによる消費者・卸売り業界のニーズの把握と提案力の強化

10:50～11:00 休憩

11:00～12:00 実践報告② わが産地の青果物生産振興と販売力強化策

全国農業協同組合連合会長野県本部
生産振興部・担い手推進センター
部長・担い手推進センター長 小林博氏

- 本県は東西120km、南北212km、面積13,562km²、標高2,000mから3,000m級の山々に囲まれ、耕地の標高差が260mから1,490mと変化に富んだ自然豊かな環境
- 組合員の所得増大に向けた生産から販売までの事業展開の推進
- 市場等関係団体との連携による安定供給の強化および販促活動等の実践
- マーケティングに基づいた生産振興強化および消費者ニーズを反映した付加価値商品の開発・販売の取り組み

12:00～13:00 昼食

13:00～14:10 討論

(座長) 前掲 堀田学氏
(コメンテーター) 京都青果合同株式会社 野菜部 執行役員 村上勝也氏
和歌山大学 経済学部 教授 岸上光克氏

14:10～14:30 休憩

14:30～15:50 報告Ⅲ 農産物をどう有利に販売するか

(うち質疑応答約10分)

－販売チャンネル戦略を中心に－

広島大学大学院 統合生命科学研究科
教授 細野賢治氏

- 専門は食料農業経済学。『農政の展開と食料・農業市場』（筑波書房）、『産地再編が示唆するもの』（農林統計協会）など著書多数
- 青果物の持つ商品特性と供給構造
- 青果物をめぐる卸売市場政策の変化と卸売市場の課題
- 産地における流通・販売チャンネルの形成と今後の展開

15:50～16:00 閉会あいさつ 一般社団法人農業開発研修センター 常務理事 瀬津孝

(京都大学農学部非常勤講師)

注) 講師の都合等により、報告時間等が変更になる場合があります。予めご了承ください。

農業開発研修センター 行き
〈FAX : 075-748-0855〉

令和6年度（通算第55回）農産物流通研究会参加申込書

〒 TEL FAX

ご住所：

貴機関名：

ご記入者（部課名） ^{ふりがな}（お名前）

部課・役職名	^{ふりがな} 参加者氏名	会友同時加入 (希望者は○)	昼食(弁当) (希望者は○)	懇談会 (希望者は○)
〈記入例〉 営農・企画課長	^{けんしゅう たろう} 研修太郎	○	○	○

※受付完了通知と請求書をメールで送りますのでメールアドレスは必ずご記入いただきますようお願いいたします。

@

〈送金状況〉

1. 振込（予定）先 …… イ. 京都信連 ロ. 京都銀行（該当する記号に○印をつけてください）

2. 振込（予定）日 …… 月 日

注1）必要事項をご記入のうえ、ファックスで送信してください。

※申し込み順に受け付けます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかった方には連絡します。 ※

2）ご記入いただいた情報は、研究会の受付事務、参加者に配布する名簿作成、以後の研究会の案内のために使用し、それ以外の目的で使用することはありません。



農業開発研修センター研究会年間予約コース申込書

※1：ご希望されるコースに○印をお願いします。

※2：詳細は本要領に掲載しております案内パンフレットをご覧ください。

受講コース	1. 1名コース	2. 2名コース
-------	----------	----------



農業開発研修センター研究会 年間予約コースのご案内

—“人づくり”が重要な今、
役職員の年間研修計画にご活用ください—

【本サービスの概要と参加者のメリット】

- ・当センター主催の研究会（7回分）について、毎回1団体につき、1名から2名の参加が可能な受講パッケージです。
- ・年間予約制のため受講費の事前確定、受講費の予算化が可能です。
- ・役職員の研修計画を担当部署で一括管理が可能です。

【対象】

- ・当センター会員

【参加費（消費税等込）】

- ・1名コース：250,000円
- ・2名コース：380,000円

【締切】

- ・9月5日（木）

2024年7月17日より開催する「農協問題
総合研究会」を皮切りに研究会スタート

【場 所】 京都JAビル 地下2階会議室（京都市南区東九条西山王町1）

【その他】 お申し込みや参加費についてご不明な点がございましたら、
下記および裏面の連絡先までお問い合わせください。

【お申し込み・お問い合わせ先】 info@agridtc.or.jp

令和6年度農業開発研修センター研究会開催予定一覧

一般社団法人農業開発研修センター

7月

農協問題総合研究会(通算第53回)

【時期・期間】7/17(水)~19(金) 3日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(組合長・理事長、専務など)、企画担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:59,400円 非会員:89,100円

J A関係者の意識改革と資質の向上を狙いとするとともに、今後のJ A運動の展開方向と展開条件を総合的に解明するため、先進J Aや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

8月

地域農業振興に関する研究会(通算第48回)

【時期・期間】8/8(木)~9(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(営農担当役員など)、営農経済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:29,700円 非会員:44,000円

地域農業振興計画立案・推進関係者の資質の向上を狙いとするとともに、地域農業振興・活性化の課題と対応方向を解明するため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

9月

農産物流通研究会(通算第55回)

【時期・期間】9/12(木)~13(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(営農担当役員など)、営農経済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

農産物流通に関わる関係者の資質向上と課題解決力の強化に資するため、先進産地や流通業界の専門家等からの多彩な報告とシンポジウムを実施する。

10月

J A 共済総合研究会(通算第31回)

【時期・期間】10/23(水)~25(金) 3日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(共済担当役員など)、共済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:59,400円 非会員:89,100円

J A運動とJ A経営の双方の視点からJ A共済の今日的課題を解明するとともに、今後の事業戦略確立の方向性を探るため、先進J Aや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

11月

J Aの組織基盤強化に関する特別研究会

【時期・期間】11/14(木)~15(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層、幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

当年度の時宜に適った企画テーマを設定し、そのテーマに特化した企画内容に力点を置き、実践報告や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

1月

J A 金融問題研究会(通算第43回)

【時期・期間】1/16(木)~17(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(信用担当役員など)、信用担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

J A金融関係者の資質の向上を狙いとするとともにJ A金融をめぐる構造的諸問題を解明するため、事例報告や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

2月

J Aの営農事業改革に関する研究会(通算第3回)

【時期・期間】2/6(木)~7(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(営農担当役員など)、営農経済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

地域農業振興・活性化の課題(地域農業振興計画の策定・実践を含む)の解明とJ Aの営農経済事業の改革方向を探るため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

【連絡先】〒601-8585

京都市南区東九条西山王町1 京都J Aビル内

一般社団法人農業開発研修センター

TEL:075-748-0703 FAX:075-748-0855

Mail:info@agridtc.or.jp

URL:https://agridtc.or.jp/